

萩原久美子 下関市立大学経済学部教授

## ディーセント・ワークと雇用改革

安倍首相のもと、雇用制度改革が規制改革会議と産業競争力会議を中心に「異次元のスピード」で進められている。「世界で勝つ」「世界を惹きつける」。グローバル競争とコスト競争での勝利に向けて繰り出されたのは労働法制の根幹を揺るがすような国家戦略特区であり、労働時間の規制緩和を求めるホワイトカラー・エグゼンプションであり、解雇の金銭解決や限定正社員の制度化だった。

たった1年半前、自公両党の政権奪還まで、雇用問題は少なくとも「行き過ぎた規制緩和」にその軸足を置いていた。年収200万円以下の低所得者層の増加、若者と女性を中心とする非正規雇用化と格差の拡大、中間層をも含めた全般的な貧困化が問題であるとの認識があった。だが、今や問題は同一企業内で職務横断的に異動を繰り返しながら長期雇用される日本型正社員の「行き過ぎた雇用維持」にあるというのが現政権の認識だ。

働く者の喜びはグローバル競争での企業の勝利であるかのような大量の情報発信と議論のスピードに巻き込まれ、生身の感覚は麻痺しつつある。働くという行為がなぜに私たちをかくも苦しめるのか。それでもなお私たちは働くことにはいかなる希望を見出そうとしているのか。この6月にも迫る新たな成長戦略の発表を前に、今ここで、この国で進む雇用改革の位置を確認したい。その参照点を本特集ではグローバルな労働基準「ディーセント・ワーク」に置いた。

## はぎわら くみこ

一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。専門分野は労働社会学、人事労務管理論、社会政策のジェンダー分析。生活経済政策研究所主任研究員、東京大学社会科学研究所特任助教などを経て現職。

著書に『復興を取り戻す—発信する東北の女性たち』（2013年、岩波書店、共編）、『「育児休職」協約の成立—高度成長期と家族的責任』（2008年、勁草書房）、『迷走する両立支援—いまこどもをもって働くということ』（2006年、太郎次郎社エディタス）など。

日本では「働きがいのある人間らしい仕事」と訳されるディーセント・ワークは1999年の第87回ILO総会で事務局長報告として打ち上げられた提言である。ブレトン・ウッズ機関による構造調整は民営化と規制緩和を「開発の社会的および経済的目的と混同」し、市場の社会的・政治的状況への認識が欠如していたと批判し<sup>1</sup>、グローバル経済によって変貌する労働と新たな危機に瀕する労働者の基本的権利と労働条件、社会保障の維持・拡張を再確認した。それは直接的には男女すべてにとって「権利が保護され、十分な収入を生み出し、適切な社会保護が与えられる生産的な仕事」のことだが、ILOの四つの戦略目標の実践プロセスとその相互の成果が絡み合った結果の到達点を意味する。

その四つの戦略目標は①人権と労働の基本的原則である中核的労働基準の尊重と遵守②人間らしい生活水準や個人の満足が担保される良質な雇用の確保③労働時間等の職場の安全と社会保障（社会保護）④参加と民主的プロセスの保障としての社会的対話（職場における労使交渉と三者構成の対話とコンセンサス）である。ジェンダー平等はそれらすべてを貫く横断的な目標として位置づけられている。

本特集ではディーセント・ワークそれ自体を明示的に議論してはいない。むしろ国内の閉じた議論の対立軸から解き放ち、個々の論考の背後にあるグローバルな文脈から、国内で進む雇用改革を、照らすこ

とを狙っている。

田端論文はアベノミクス雇用改革構想の全体像をグローバル戦略との関係で読み解く。そこに働く人間の労働や生活に関する「社会」の観点が欠如しているという指摘は重要だ。続く四本の論考ではディーセント・ワークとの関係において興味深い分析が続く。濱口論文はメンバーシップ型雇用契約を土台とした日本型雇用システム分析の観点から限定正社員の持つ可能性を整理して見せる。森論文は男女賃金格差を正当化してきた雇用管理区分の同一性判断基準の問題から正社員改革に切り込み、同一価値労働同一賃金の意義を提起する。続く安里論文は今後新たに提起される家事・介護分野での外国人労働者の受け入れ検討について、先行する海外の事例分析から受け入れ国の課題を論じる。兵頭論文は歴史的経過も踏まえ、政策的ペア誘導に見る日本の社会的対話の現状——ミクロな労使関係の課題とその制度的課題を析出する。

ディーセント・ワークとは進行するグローバル経済の中に労働を適切に位置づける動的な作業でもある。安倍政権の雇用制度改革との距離を確かめていただきたい。

#### 《注》

- 1 Report of the Director –General: Decent Work (<http://www.ilo.org/public/english/standards/reim/ilc/ilc87/rep-i.htm>), 邦訳 ([http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/---ilo-tokyo/documents/publication/wcms\\_241024.pdf](http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/---ilo-tokyo/documents/publication/wcms_241024.pdf))